

地域雇用開発支援WT (ワーキングチーム) の紹介



岡田 美弥子
北海道大学大学院
経済学研究院 教授
[専門分野] 経営学 (コンテンツ・ビジネス)

コミックやアニメなどのコンテンツ産業において、さまざまな事業が連携して作品の価値を高めていく関係性を研究しています。実践型地域雇用創造事業においても、地域関係者の連携によって生み出されるアイデアや実行力が、雇用創出や商品開発につながり、地域の価値を高めていくと考えています。地域の方々のお力が最大限に発揮されるよう、精一杯お手伝いをさせていただきます。



野長瀬 裕二 (副座長)
摂南大学
経済学部 教授
[専門分野] 地域イノベーション、ベンチャー企業経営、経営システム工学

各地域企業を多数訪問させていただき、研究活動に加えて、社会貢献活動として企業のビジネスマッチング支援を25年強続けています。商品開発、事業開発、経営革新を通じて、地域産業が元気になり雇用創出につながるよう、いっしょに知恵を絞っていきましょう。



西澤 正樹 (座長)
亜細亜大学 アジア研究所
教授
[専門分野] 中小企業論、地域経済論、中国産業地域研究

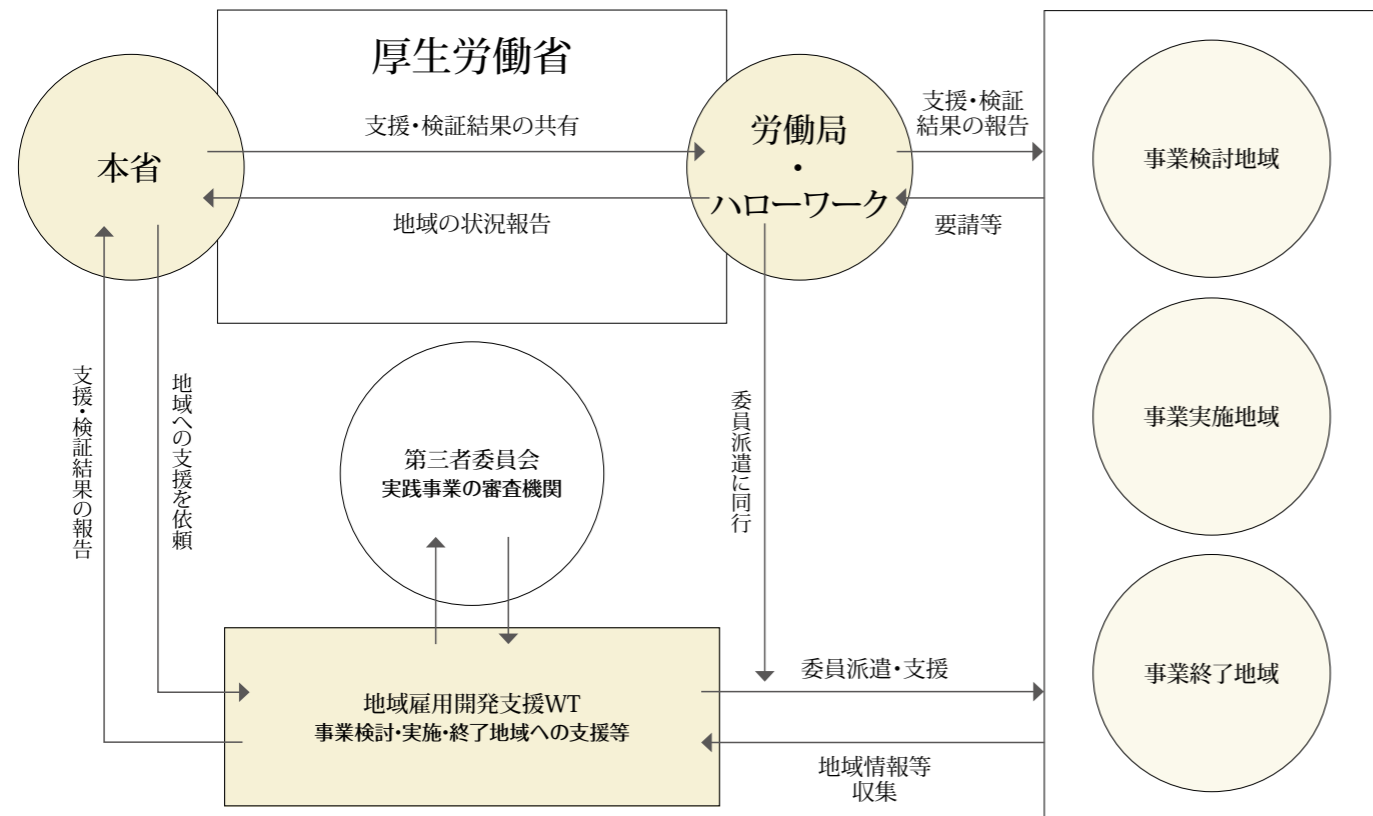
皆様の地域が培ってこられた「地域資源」は実に多様で豊かです。日本の財産だと思います。地域に住まい働く皆様自身が「これは、いいね!」とする「地域資源」を見出し、詳しい情報を盛り込み表現し、地域外や海外の人たちも購入・消費し易い商品・サービスを開発して下さい。そして、そこに「働く機会」を創りだしていただきたいと思います。海外の人々も日本の「いいね!」に関心を寄せています。



松本 祐一
多摩大学 総合研究所
教授
[専門分野] 地域経営論、マーケティング、経営戦略論

こんな仕事をつくりたい。こんな地域にしたい。こんな暮らしをしたい。地域の「こうしたい」という様々な意志こそが、すべての計画や施策の基盤となります。このような地域の「志」をエネルギーに、これまで積み上げてきた取組や地域資源を活かした雇用創造のための事業と一緒につくっていきましょう。産業振興施策や具体的なビジネスを、地域の現場でつくってきた経験とマーケティングの知見を活かして、お手伝いをさせていただきます。

地域雇用開発支援WTの流れ



菊地 昌弥
東京農業大学
国際食料情報学部 准教授
[専門分野] 農業経済学

地域の機能を維持・発展させていくうえで雇用の創出はかせません。そのためには、まずは地域資源を客観的な目で見つめ直すとともに、それをどのように活用し、「現在」何ができるかを熟考する必要があります。食品企業に従事した経験や農業経済分野の研究を通して得られた知見を生かしながら、地域の皆様と一緒に考え、共に頑張っていきたいと思います。



風神 佐知子
慶應義塾大学
商学部 准教授
[専門分野] 労働経済学

国際競争や産業集積等が雇用創出・喪失に与える影響や雇用創出政策について研究しています。これまでの委員活動から感じたことは、成功事例を内容のみ真似ても同じような結果は得られない、「役者」が重要な鍵であるということです。地域の中に推進力のあるリーダーがいて、多くの人々が参加していることがいかに大切か目の当りにしました。地域のみ皆さんの取組に関われることは大きな喜びであり、研究で得られた知見や第三者の視点から地域の雇用創出に貢献できれば幸いです。



黒木 正樹
立命館大学
経営学部 准教授
[専門分野]アントレプレナーシップ論、ベンチャー企業論

「地域に活力があるから日本全体が豊かな社会に成る」と心に念じながら各地域を訪問させて頂いています。大学の日常では、大学の基礎研究力を生かした大学発ベンチャー企業や資源を生かして、大学生時代より企業を創業する事を目指す学生の指導と育成、さらにグローバル目線で活躍できる若き起業家予備軍をどう育成すべきかを研究しております。大学内外ともにまだまだ知らない事が多い中で、少しでも地域の方々の意気込みと生の活動に貢献できるよう訪問させていただきます。



林 亮輔
甲南大学
経済学部 准教授
[専門分野] 財政、地域政策

各地域が雇用を創出するためには、地域の強みを的確に捉え、強みを活かした方策を考え出すことが重要になります。非常に難しい課題ではありますが、共に知恵を出し合い、効果的な雇用創出策を考えたいと思います。ワーキングチームの一員として楽しみにしていることは、本事業を実施した地域の将来の姿です。長い年月を要するかもしれませんが、本事業の成果があらわれることを信じて、精一杯取り組めます。